

新年あけましておめでとうございます。 "あすなろ学年"が更に成長する、 50日間の3学期が始まります。

いよいよ平成29年の1年が始まりました。皆さんはどのような1年にしたいですか？4月からはいよいよ最上級生になる皆さん。始業式で校長先生はから、生徒会誌「連峰」の名の由来についての話がありました。「山はそれぞれの個性を持っています。一つ一つが天に向かってそびえ立っています。それらの山は決して孤立しているわけではありません。がちりと肩を組み、ふもとは一つになって、連峰を形づくっているのです。私たち一中生は、この連峰のように一人ひとりが個性を持ち、自己を高め、そして、決して孤立せず、互いを高めながら一つのまとまり、つまり一中をつくり上げるためにみんなで頑張りましょう。」これは、昭和54年、新一中「連峰 創刊号」の文章の一部です。これまでの先輩方が築いた山形一中の伝統を引き継ぐ3年生になるための心構えや行動力・団結力などを身につける三学期を「0学期」と考えていきましょう。2019年酉年が、「あすなろ学年」にとって良い年となるよう、力を合わせて頑張っていきましょう。

※次の文章は、始業式で新年の抱負を発表してくれた、有川美緒さんの決意です。
皆さんも、ぜひ新年の抱負をかかげ、新たな気持ちで新年を迎えましょう。

三学期の抱負

この冬休み、私はリーダー研修会に参加しました。その中で一番心に残ったことが「事前の準備」の大切さです。来年度私たちは3年生になります。だから、この三学期は、2年生としての総まとめの学期でもあり、3年生になるための準備の学期でもあります。この大事な三学期に私は次の二つの事を頑張ります。

一つ目は学習の積み重ねです。今私たちは、テキスト学習に取り組んでいます。12月中旬その5教科分のテキストが渡ってきました。その時私は、正直そのページ数の多さに「全て覚えることができるのだろうか？」という不安を感じました。私はその不安な気持ちを抱えたまま、学習についての説明を先生方から受けました。「なぜテキスト学習をするのか？」この項目から始まったプリントを読み進んでいくうちに、私の心に、前期学年スローガンの「挑戦」の言葉がうかび、それとともに最初に感じていた不安な気持ちは一気に晴れて、勇気がわいてきました。いやなことに立ち向かっていく強い心を持つことが大事なのだと改めて思うことができました。だから私は、諦めずに毎日こつこつと勉強を積み上げて、自分に自信を持てるように努力していきたいと思えます。

二つ目は部活動です。今の時期、外での部活動は天候の関係で十分にできず、できる範囲が限られています。でもその条件はどの学校でも同じ事です。ここでどれだけ力をつけ、他校との差を開くことができるかが6月の市中総体につながってくると思えます。だから、声が枯れるくらい大きな声で練習を盛り上げたり、どんな時でも素早く行動するなど小さな事から全力で取り組み、仲間とともに、ボールを追いかけたいと思えます。

私は、勉強や部活動、そして日々の生活においても「努力は必ず報われる。」と思っています。絶えず自分の課題を見つけ克服のための努力をすること、「憧れの人に追いつきたい」「自分はいっとできる」と、より高い目標を持って努力することを大切に、三学期を過ごしていきたいと思えます。

